



♥ 文芸部で1Dの米屋結衣さんが、昨年度の鷹島由季さんに続いて、全国高校読書体験記コンクール優良賞受賞！梨木香歩の「エンジェル エンジェル エンジェル」を読んで、「誰かの神様へ」という題名で応募。尚、副賞として学校に集英社文庫50冊を寄贈していただきました。図書委員が鋭意受入れ作業中です。

「エンジェル エンジェル エンジェル」という可愛らしい題名とは裏腹に、罪や罰を題材とした静かな薄暗さを感じさせる作品でした。友人関係や家族関係で悩みがある高校生に是非読んでもらいたいと思います。読書体験文を書くのは今回が初めてでしたが優良賞をいただくことができとても嬉しいです（米屋談）

新刊紹介

1 岩波新書

一茶の相続争い	高橋敏	憲法改正とは何だろうか	高見勝利
日本文化をよむ	藤田正勝	裁判の非情と人情	原田國男
中原中也 沈黙の音楽	佐々木幹郎	歩く、見る、聞く 人びとの自然再生	宮内泰介
日本の歴史を旅する	五味文彦	系外惑星と太陽系	井田茂
イギリス現代史	長谷川貴彦	北原白秋 言葉の魔術師	今野真二
60歳からの外国語修行	青山南	日本の近代とは何であったか	三谷太一郎
抗生物質と人間	山本太郎	シリア情勢	青山弘之
日本の無戸籍者	井戸まさえ	中国のフロンティア	川島真
出羽三山 山岳信仰の歴史を歩く	岩鼻通明	グローバル・ジャーナリズム	澤康臣
アウグスティヌス	岩村和彦	モラルの起源	亀田達也
生と死のことば	川合康三	「レ・ミゼラブル」の世界	西永良成
日本問答	田中優子	作家的覚書	高村薫
メディア不信	林香里	ミクロ経済学入門の入門	坂井豊貴
ルポ 不法移民	田中研之輔	日中漂流	毛里和子
会計学の誕生	渡邊泉	異才、発見！	伊藤史織
東電原発裁判	添田孝史	正岡子規 人生のことば	復本一郎
治安維持法と共謀罪	内田博文	偽りの経済政策	服部茂幸
原子力規制委員会	新藤宗幸	霊長類 消えゆく森の万人	井田徹治
トマス・アキナス	山本芳久	ルポ トランプ王国	金成隆一
義経伝説と為朝伝説	原田信男	習近平の中国	林望
語る歴史、聞く歴史	大門正克	鏡が語る古代史	岡村秀典
科学者と軍事研究	池内了	矢内原忠雄	赤江達也

シルバー・デモクラシー	寺島実郎	在日米軍	梅林宏道
キャスターという仕事	国谷裕子	夏目漱石と西田幾多朗	小林敏明
ロシア革命 破局の8か月	池田嘉郎	親権と子ども	榊原富士子
独占禁止法 新版	村上政博	中国の近現代史をどう見るか	西村成雄
共生保障〈支え合い〉の戦略	宮本太郎	ゲノム編集を問う	石井哲也
対話する社会へ	暉峻淑子	戦争をよむ	中川成美
文庫解説ワンダーランド	斎藤美奈子	町を住みこなす	大月敏雄
落語と歩く	田中敦	<ひとり死>時代のお葬式とお墓	小谷みどり
文明は〈見えない世界〉がつくる	松井孝典		

② 岩波ジュニア新書

漱石先生の手紙が教えてくれたこと	小山慶太	農学が世界を救う！	生源寺眞一
マンボウのひみつ	澤井悦郎	私、日本に住んでいます	スベンドリニ・カクチ
女も男も生きやすい国、スウェーデン	三瓶恵子	自分のことがわかる本	安部博枝
敗北を力に！甲子園の敗者たち	元永知宏	日本一小さな農業高校の学校づくり	品田茂
世界に通じるマナーとコミュニケーション	横手尚子	財政から読みとく日本社会	井手英策
短歌は最強アイテム	千葉聡	正しいコピペのすすめ	宮武久佳
榎本武揚と明治維新	黒瀧秀久	中学生になったら	宮下聡
王様でたどるイギリス史	池上俊一	質問する、問い返す	名古屋隆彦
聖徳太子	東野治之	読みたい心に火をつけろ！	木下通子
東大留学生ディオンの見たニッポン	ディオン・ン・ジェ・ティン		

③ 他の新刊書一覧

警備と安全		文藝春秋
小松耕輔生誕130年記念誌	小松耕輔音楽兄弟顕彰会	由利本荘市教育委員会
樺太四十年の歴史	天野尚樹	全国樺太連盟
近世秋田の鋳物師と梵鐘	熊谷恭孝	
犬が来る病院	大塚敦子	KADOKAWA
みかづき	森絵都	集英社
劇場	又吉直樹	新潮社
蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
天子蒙塵 1, 2	浅田次郎	講談社
マジで航海しています。[DVD]	国際船員労務協会寄贈	
文藝春秋オピニオン 2018年の論点100		文藝春秋
'18 現代用語の基礎		自由国民社
コンビニ人間	村田沙椰香	文芸春秋
ことばがひらかれるとき	竹内敏晴	ちくま文庫
16歳からの交渉術	田村次朗	実務教育出版
舟を編む	三浦しをん	光文社文庫

菜根譚	今井宇三郎	岩波文庫
劇場	又吉直樹	新潮社
石巻市立大川小学校「事故検証委員会」を検証する	池上正樹	
あのと、大川小学校で何が起きたのか 単行本	池上正樹	
騎士団長殺し(第1部)(第2部)	村上春樹	新潮社
鹿の王(上)(下)	上橋奈穂子	角川書店
ギリシア人の物語 I II	塩野七生	新潮社
朝日キーワード2018	朝日新聞出版	朝日新聞出版
犬が来る病院	大塚敦子	KADOKAWA
フラダン	古内一絵	小峰書店
ストロベリーライフ	萩原浩	毎日新聞出版



私のオススメ<3>

<p>「人狼ゲーム」 [川上亮著 竹書房文庫]</p> <p>紹介する人狼ゲームという本は人をだまし合い最終的には人狼を探すというゲームがストーリーの主体となり進んでいきます。読書が苦手な人でもおもしろいストーリー展開に引き込まれてしまうと思います。 (1 A 嶋崎一步)</p>	<p>「僕のヒーローアカデミア」 [堀川耕平・菅司アンリ著 集英社]</p> <p>平凡以下の少年がNO1ヒーローに出会って夢を叶えていく過程の本です。ヒーローになるために全てを学びながら普通の学校行事を通して切磋琢磨し合います。読書が苦手でも飽きることなく最後まで楽しく読めました。 (1 A 柏崎あゆ梨)</p>
<p>「13のシーズン」 [あさのあつこ著 光文社文庫]</p> <p>この本は、四人の中学生が逞しく成長する姿を描いた青春小説です。私が特に印象に残っているのは「楽しい時間は風だ」という言葉です。私はこの言葉を聞き今ある時間を大切に使うということを気付かされました。 (1 A 小野鈴花)</p>	<p>「旅猫レポート」 [有川浩著 文藝春秋]</p> <p>このお話は冬、猫が拾われる所から始まりました。拾われる、という言葉通り、この本は猫の目線から語られます。男に拾われ幸せに暮らしていた猫は、ある日男に連れられて旅に出ます。とても心が温まる話なのでぜひ読んでください。 (1 C 藤田あかね)</p>
<p>「三日間の幸福」 [三秋縋著 KADOKAWA]</p> <p>この本は自分の寿命を売ってしまった男が主人公の話です。その人の人生によって値段が変わる寿命が一年につき一万円という最低価格だった主人公。そんな不幸な人生が一人の女性によって変えられとても感動しました。 (1 A 斧澤遼)</p>	<p>「100回泣くこと」 [中村航著 角川文庫]</p> <p>この本は、とても感動することができる物語です。主人公と主人公の彼女は結婚を前提に同居を始めますが、彼女にがんが見つかってしまいます。主人公の、彼女を守ろうとする思いと、彼女の、病気に立ち向かう姿がとても印象的です。 (1 B 進藤千夏)</p>

<p>「ランナー」</p> <p>[あさのあつこ著 幻冬舎]</p> <p>この本は主人公が陸上部を辞めた所から始まります。そしてその主人公が家族や仲間を支えられもう一度走ろうとする内容で、この本から周りにいる大切な人の存在を気づかせてくれるような本でとても深い内容の本です。(1 C大塚恒輝)</p>	<p>「君の名は」</p> <p>[新海誠著 角川文庫]</p> <p>この話は、男子高校生の龍と女子高校生の三葉が夢の中で入れ変わり、地球にぶつかるすい星のかけらから人々を守るという話です。入れ変わった龍、三葉の喜怒哀楽の感情の変化、お互いの想いが見どころとなっています。(1 D菅原星晃)</p>
<p>「ヒックとドラゴン」</p> <p>[ヒック・オレンドラス・ハドック・Ⅲ著 小峰文庫]</p> <p>この本は平凡な主人公ヒックが仲間のドラゴンと共にドラゴン使いの一人前になるために協力して道を切り開いていくという話です。見所はヒックがどのようにして成長していくかです。ぜひ、読んでみてください。(1 C伊藤優雅)</p>	<p>「きみはポラリス」</p> <p>[三浦しをん 著 新潮文庫]</p> <p>この本にはたくさんのストーリーが入っていてどのストーリーも作者の個性が出ているすばらしい本です。この本のストーリーにはホラーやミステリーやコメディなどのいろいろのジャンルがあり、読み飽きず楽しいです。(1 C貝田虎太郎)</p>
<p>「また、同じ夢を見ていた」</p> <p>[住野よる著 双葉社]</p> <p>これは主人公が学校の宿題で出された「幸せとは何か」について考える話です。普段、何気なく生活していると気づくことができない小さな幸せに気づくことができます。(1 A鈴木幸那)</p>	<p>「あと少し、もう少し」</p> <p>[瀬尾まいこ著 新潮]</p> <p>この小説では、中学校で駅伝をする少年が主人公の話です。始めはアンカーの務めについて勘違いをしていたが、顧問の先生に言われた言葉にアンカーの務めについて理解していく努力と友情が美しい話となっています。(1 A鈴木悠太)</p>
<p>「ラヴクラフト全集」</p> <p>[H・P・ラヴクラフト著 創元推理文庫]</p> <p>幻想と怪奇の作家であるラヴクラフト。そんな彼の作品でおすすめるのは「インマウスの影」です。これにはさまざまな怪物や呪文が登場しその重々しい語り口と意味不明な物事に対する根幹的な恐怖を煽られる作品です。(1 A保坂輝)</p>	<p>「ホセ・ムヒカ 世界でいちばん貧しい大統領」</p> <p>[エルネスト・トゥボヴィッツ著 角川文庫]</p> <p>この本は、ウルグアイ元大統領のホセ・ムヒカ氏について書かれたものである。内容は作者の取材から書かれたもので、ムヒカ氏の生き方も載っていてとてもためになる内容ですが笑える一面もあり読みやすい本である。(1 A加藤優太)</p>
<p>「サッカーボーイズ」</p> <p>[はらたみずき著 カンゼン]</p> <p>この本は、サッカー小説です。サッカーボーイズという本には13歳、14歳…などといった期間ごとに分かれています。この本の主人公の遼介が仲間と出会い、チームが成長しています。サッカーが好きな人は読んでみてください。(1 C渡部慧祐)</p>	<p>「神様からの宿題」</p> <p>[山本育海・智子著 ポプラ社]</p> <p>このお話は、FOPというとても重い難病にかかった一人の男の子が、家族と協力して病気を乗り越えるというお話です。男の子の家族や、周りの人達の愛情が詰まったお話なので、ぜひ、一度読んでみてください。(1 C戸田夏未)</p>
<p>「純白の未来」</p> <p>[雨宮惜秋著 純白の未来を拓く会]</p> <p>この本は地球温暖化や同時多発テロなどについて世の中ではあまり知られていない本当の事実が書かれている本です。今まで疑問を持たなかった物事がウソだと分かりとても驚きました。新しい発見がある本です。(1 C佐藤心星)</p>	<p>「イチローの流儀」</p> <p>[小西慶三 著 新潮文庫]</p> <p>この本は、イチロー選手が試合で活躍するために普段どんな生活を送っているか、また休日の過ごし方や、食生活、どのような努力をされているかが書かされていて、学ぶものがたくさんあっていい本です。(1 C伊藤駿)</p>

